

2022年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育内容の総合的指導法「健康」		教員氏名	井狩 芳子	
科目ナンバー	Ⅲ-6-2-2 ①				
学年	1年		開講学期	後期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験	なし	0年
テーマ	領域「保育内容『健康』」の内容について、子どもや保護者への定着を図るための方途を模索し習得する				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	<p>1. 「保育内容『健康』」の学びを踏まえ、①構想と実践方法の理解 ②教材研究 を経て、③幼児期終盤に、その獲得が期待される“10の姿”を念頭に実践力の習得を目指す</p> <p>2. 実践力習得の際、子どもの支援の一環として、「①あそび活用 ②気付きの掘り起こしと知識の伝え合い ③生活場面の活用」を主眼に、保護者支援の視点も養う</p> <p>3. ICT教育の3つの視点を踏まえ「①資料収集 ②授業内活用 ③子ども/園/保護者の活用」の概要を習得し、その情報を基にしながら、現場で活用できる保育教材の提案や指導法の立案などを、個人または共同/協働で学習する</p> <p>4. さらに、様々な要件を持つ子どもや保護者への対応も念頭に、学生の体験・ICT教育・グループワークの機会をとおして学びを深め、保育内容「健康」の視点から「保育の計画の立案・実践・評価・改善」が可能な力の習得を目指す</p> <p>5. 座業の隙間時間を活用し、チョコッと室内遊びの体験</p>				
授業の到達目標	<p>1. 本授業の意義・ねらい・内容の概要把握と養成校在生として自身の健康管理を実践</p> <p>2. 健康課題の把握と保育者の役割認識を踏まえ、対応ができる実践力を習得しようとする</p> <p>3. 基本的な生活習慣の習得や健康・安全な生活を営む力を養うための具体的指導法を学び、実践力の基本習得を目指す。その際、子どもの年齢/個別対応、保護者支援/地域支援への必要性に気付き、積極的な知識吸収に努める</p> <p>4. 「3」の保障の為に、保護者と保育者、地域の各機関との協働が必要なことに気付き、その視点を述べられる</p> <p>5. 自身の健康課題を省察し、自律した社会人への力を習得する</p>				
テキスト	演習 保育内容健康 萌文書林 2018 井狩芳子著				
参考書	①厚生労働省「保育所保育指針」 ②文部科学省「幼稚園教育要領」 ③内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 ④文部科学省「幼児期運動指針」 ⑤農林水産省「食育基本法」 *その他、各関連科目の教科書				
ポートフォリオ	①厚生労働省「保育所保育指針」 ②文部科学省「幼稚園教育要領」 ③内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 ④文部科学省「幼児期運動指針」 ⑤農林水産省「食育基本法」 *その他、各関連科目の教科書				
往還型授業 (双方向授業)	授業毎にワークを取り組み提出し、後日の返却の際、再度の学びの定着をおこなう				
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				○
	ICT(ゲーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
	その他: 輪番でテキストや課題を読み、個人やグループで実践をおこない、その内容を発表する				○

成績評価方法	区分	割合(%)	内容	
	定期試験	0	実施しない	
	授業内課題 参加度 出席態度等	100	①授業への積極的参加:50% ②課題への積極的取り組み:50%	
	その他	0	なし	
授業概要と課題				
第1回	テーマ 内容	戸外遊びとは・・・①“冒険あそび”の概要を知り、プレーリーダーの必要性の認識(NPO法人KIDSとの協働事業) ②自身の子ども期のあそび体験振り返り		
	授業外学習	<予習>①シラバス通読 ②教科書第6章p. 77～79の通読 <復習>配布資料と教科書該当部分の再通読	55分	
第2回	テーマ 内容	戸外あそび(教室集合⇒散歩)・・・①戸外散歩に係る概要把握と体験 ワーク:①事前準備 ②実地踏査 ③お散歩マップ作製 ④安全管理と安全教育		
	授業外指示	<予習>①教科書第15章の通読 ②当日の服装や靴は、活動に適した物を事前に準備する <復習>戸外活動の機会を利用し、マップ作成をおこない、見やすいマップの工夫をする ※③は、グーグルクラスルームから提出		55分
第3回	テーマ 内容	戸外あそび(集合等は事前に伝達、実施は淵野辺公園予定)・・・冒険あそび体験 ワーク:①体験内容の記録と省察 ②安全管理と安全教育 *雨天時は別メニュー		
	授業外指示	<予習>当日の服装や靴は、活動に適した物を準備し、当日に備える <復習>冒険あそび場や諸活動に積極的に参加し、経験やその気付きを生かす		55分
第4回	テーマ 内容	①オリエンテーション ②前期学習の復習 ③子どもの成長とあそびの意義 ④あそびの保障と保育者の役割・・・視聴覚教材視聴⇒ワーク:学びの概要把握		
	授業外指示	<予習>教科書第13章p. 162～176の通読 <復習>自身の保育者観の確認と、必要に応じた修正等		55分
第5回	テーマ 内容	協応動作を支える運動機能の概要把握(ヒトの動きを支える36の基本の動作) ワーク:①36の動作の認識 ②36の動作を保障する運動あそびとは		
	授業外指示	<予習>教科書第8章の通読 <復習>配布資料と教科書第8章の再通読		55分
第6回	テーマ 内容	乳児期の運動あそびの概要把握と援助の視点・・・視聴覚教材視聴 ワーク:保育園で活用したいベビーサイン		
	授業外指示	<予習>教科書第14章の通読 <復習>配布資料と教科書第14章の再通読		55分
第7回	テーマ 内容	幼児期の協応動作獲得を促す運動あそび紹介と援助法(その1:新聞紙)於:教室 ワーク:①「本授業の体験記録」の用紙作成 ②折り紙 ③運動あそびの用具作り		
	授業外指示	<予習>当日の活動に適した、服装や靴の事前準備 <復習>①活動内容の記録と復習		55分

第8回	テーマ 内容	協応動作獲得を促す運動あそび紹介と援助法(その2:新聞紙) 於:体育館 ワーク:運動あそび体験と援助(指導法)の記録	
	授業外指示	<予習>当日の活動に適した、服装や靴の事前準備 <復習>①活動内容の記録と復習	55分
第9回	テーマ 内容	協応動作獲得を促す運動あそび紹介と援助法(その3:用具不要) 於:体育館 ワーク:運動あそび体験と援助(指導法)の記録	
	授業外指示	<予習>当日の活動に適した、服装や靴の事前準備 <復習>①活動内容の記録と復習	55分
第10回	テーマ 内容	①乳幼児への基本的な生活習慣獲得の援助と保護者支援➡ワーク:ポスター作成	
	授業外指示	<予習>教科書第10章の通読 <復習>"基本的な生活習慣"の振り返り	55分
第11回	テーマ 内容	"幼児のあそびに関する"年間プログラム作成 *未提出者は再試験の対象とする	
	授業外指示	<予習>①教科書第13章/15章の通読 ②他教科や他領域、参考書を確認 <復習>様々な特徴を含む遊びのプログラムを自ら工夫して作成し、実践の土台を作る	55分
第12回	テーマ 内容	"幼児の食育に関する年間プログラム"作成 *未提出者は再試験の対象とする	
	授業外指示	<予習>課題作成に向け、ふれあい体験を思い出したり、資料を探すなど、事前準備をする <復習>実習先の園の食育に興味関心を持ち、知りえた内容を今後に生かす	55分
第13回	テーマ 内容	日本版SDGsと子どもの健康課題	
	授業外指示	<予習>第13回ワーク SDGsの事前把握 <復習>①「保育内容『健康』/指導法『健康』」の課題醸成 ②自身の健康課題の評価と展望	55分

課題に対するフィードバックの方法

・各授業の後半で当該授業に関するワークを実施し回収。翌週に返却し、授業の最初に解説をしてフィードバックを図る